



《校訓》YDO (やれば できる 大始

努 勉 友
力 学 情

大始良の風

所在地：鹿屋市田淵町987番地
TEL：0994(48)3125
FAX：0994(48)2564

たくさんのご来校に感謝！ ～ 土曜参観&合唱コンクール

7月14日(土)、授業参観及び合唱コンクールを開催しました。初めての土曜授業日開催でしたが、例年以上にたくさんの保護者の皆様に来校していただき、生徒の様子を参観していただくことができました。お陰さまで生徒も教師も程良い緊張感をもって授業や合唱コンクールに臨むことができました。感謝申し上げます。



《合唱コンクール》心がそろった合唱に感動！

合唱は一朝一夕には完成しません。各パートの音とりから始まるパート練習や、パート練習を合わせる全体練習、指揮者や伴奏者との意思疎通等、練習の積み上げが欠かせません。そして、1学級30人前後の学級合唱は、全員が声を出さないとハーモニーが完成しないぎりぎりの人数でもあります。ですから、全員の心が歌うことにそろわないと目指す合唱はできません。言うのは簡単ですが、非常に難しいことです。発表に至る各クラスの合唱の裏にはたくさんのドラマや苦労があったようです。そういう積み重ねの成果として、どのクラスも例年以上の素晴らしい合唱を披露してくれました。

よい学校とは、学年が上がるにつれて生徒が成長している学校です。1年生よりも2年生、2年生よりも3年生が中学生らしい学校生活を送っている学校です。3年生の合唱はそれを証明するものでした。2年生の合唱には成長の跡がうかがえました。1年生も初めての合唱挑戦でしたが一生懸命さが伝わるいい合唱でした。

これからは合唱で培った学級のまとまりを、学び合いの学習や学校生活の課題解決に生かして行ってほしいと思います。

【1席：3年2組】【指揮者賞：山下 剛寛】【伴奏者賞：堂脇 悠斗】



【2席：3年1組】

【3席：2年1組】



困難が人を育てる

大人は、子どものために困難な状況を回避するような手を差し伸べるのではなく、たくさんの困難を経験させ、対人関係力を身につけさせることが大切であると言われています。

夏休みはいろいろな体験を

【子どもとどのように関わるか】

- ・ 困難が子どもの心を育てる。
- ・ 後方支援に徹する。
- ・ 種を心のまくイメージを
- ・ 魂くらべ（試行錯誤を見守る）
- ・ こまめに対応しない（雑に対応）
- ・ 大木に見えるようにどっしり構える。

【子どもに伝えてほしいこと】

- ・ いやな時があれば、いろいろな人もいる（多様性、多面性）。
- ・ ルールはあるよ（最低限あいさつ・返事、早起き、片付け等）。
- ・ 心の中で感謝しようね。
- ・ 時には闘うこともあるよ（自己防衛・己主張が必要な時がある）

心をかける

七月、学級園が生徒の手で夏の花に植え替えられました。学級園には、植栽された花とは別に、こぼれ種から芽吹く花があります。この中には、自分の成長に適した季節に芽吹くものと、一時的な陽気にだまされて芽吹くものがあります。前者は大きな花を咲かせますが、後者は枯れたり小さな花しかつけられなかったりします。

成長に適した時期は子どもにもあります。何回練習してもできなかったことや、親の手を借りていたことが、自分でできるようになります。そのことが成長する時期がきたのです。そういう時期はある程度どの子どもも同じですが、個人差があります。時期を急がせると苦痛を与え、遅らせると伸びが小さくなります。また、その時期に「適度な貧しさ」や「適度な不自由さ」を与えると、その成長は「層促進」されます。

今、子どもに何をすれば、どんな言葉を投げかければ、子どもの成長にぴったりと合うのでしょうか。いつも親は考えています。教師も毎日考えなければならぬ理由がここにあります。



一学期は、保護者の皆様からいろいろな御意見をいただくことができました。今後、生徒の成長のために保護者・地域と連携して取り組んでまいります。